

ばれいしょ、さとうきび/栽培技術の確立・向上、単収・品質の向上、機械・施設の導入・整備
畑地かんがいを活かし、えらぶのばれいしょとさとうきびの生産

～鹿児島県大島郡知名町 池 幸次郎氏～

経営体の概要

地下ダムからの通水前：平成22年頃
(親から引き継ぎ時)
基幹作物：ばれいしょ、さとうきび等
経営面積：5.2ha

現在：令和7年

基幹作物：ばれいしょ、さとうきび
経営面積：13.0ha

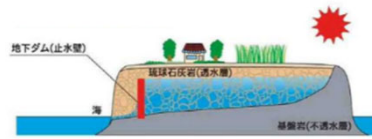
土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【地下ダム稼働前】

●二級河川があるものの、安定した水源ではなく、また島内に100箇所以上ある農業用ため池も降雨等に依存しているため、干ばつ時には用水が不足。また濁り等によりフィルターが詰まり、清掃に手間を要していた。

【現在】

●地下ダムによる安定した水源の確保により手作業によるかん水が不要となり、適切な生育管理及び計画的な出荷が可能となった。



地下ダム(止水壁)イメージ図



揚水機場

営農改善、経営転換等のポイント

①栽培技術の確立・向上

親の代から引き継いだ農地では、給水タンクにため池や川の水を汲み、散水していたため、労力がかかることと十分なかんがい効果が得られない課題があったが、平成27年以降、畑地かんがい施設の整備により効率的なかん水が可能となった。現在は約95%のほ場に畑地かんがい施設が整備され、適切なかんがいによる栽培技術の確立と収量の向上が図られている。



②単収・品質の向上

ばれいしょとさとうきびを間作し、ばれいしょの暴風対策を行い、単収、品質の向上に貢献している。

また、ばれいしょの作付けに必要な種芋は、経費削減のため3分の2は自家で栽培したものの中で、病害虫のない芋を準備し、冷蔵庫で適切に管理するとともに、残りの3分の1は農協より新規に購入し、計画的に種芋の更新を行うなど病害虫の発生をしない様に徹底し、安定生産に取り組んでいる。



③機械・施設の導入・整備

自社のさとうきびの刈り取りに加え、ハーベスターの作業受託組織である「池さとうきび生産組合」を通じて、地域のさとうきびの収穫作業を請負っている。また、ばれいしょ及びさとうきびの農薬散布は、ドローンを活用して作業の効率化を図っている。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：鹿児島県和泊町、知名町
受益面積：1,497ha
事業期間：平成19年度～令和7年度
事業目的：畑地かんがい
主要工事：地下ダム：1箇所、揚水機場：1箇所、
用水路：L=44.1km、吐水槽：1箇所、
ファームポンド：2箇所

位置図



沖永良部地区

<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係 等
電話：096-300-6498

(令和7年度調査時点)